

ご参考資料



ピクテ・マーケット・フラッシュ 2018年3月1日
バイオ医薬品

Pictet Market Flash

オザニモドの申請が受理されずセルジーンの株価下落

2018年2月27日、米食品医薬品局(FDA)は、米バイオ医薬品大手のセルジーンが提出した多発性硬化症治療薬候補オザニモドの申請不受理を発表しました。これを受けて翌日セルジーンは大きく下落しました。なおセルジーンは必要なデータを追加し、再申請する方針を示しています。

多発性硬化症治療薬候補オザニモドの申請が受理されずセルジーンが下落

2018年2月27日、米食品医薬品局(FDA)は、大手バイオ医薬品企業セルジーン(米国)の多発性硬化症治療薬候補オザニモドの新薬承認申請を受理しませんでした。このニュースを受け、翌日(2018年2月28日)のセルジーンは前日比-9.04%の大幅な下落となりました。

セルジーンについては、2017年10月にクローン病治療薬候補モンジャーセンの開発中止や2020年の業績見通しの引き下げを相次いで発表した際にも、株価が大きく下落したことがあります。このように昨年来、悪いニュースが続き、セルジーンに対する投資家からの信頼感が低下していることも、株価の下落率が大きくなった一因とも考えられます。

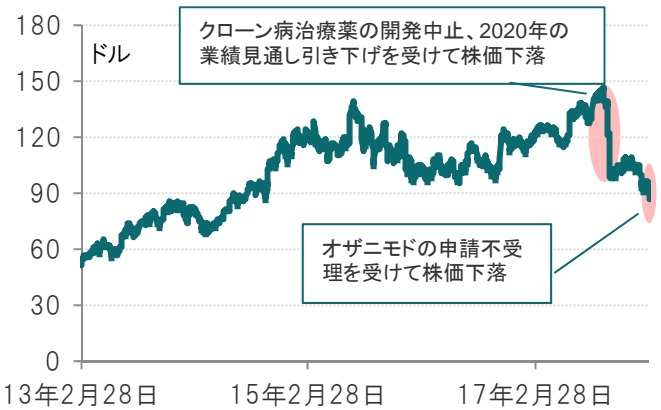
オザニモドは再申請の方向、潰瘍性大腸炎での適応も期待

今回のFDAによるオザニモドの申請不受理は、非臨床および臨床の両方について、薬理データが不足していることが理由であることから、セルジーンはFDAに協議を依頼し、必要なデータを追加し、再申請する方針を示しています。

また、今回のオザニモドの申請は多発性硬化症への適応についてのものでしたが、ピクテでは潰瘍性大腸炎での適応(現在フェーズ3)がより有望と考えています。多発性硬化症での再申請で問題点を解決することで、潰瘍性大腸炎での申請については、遅れは生じないものと見えています。

図表1:過去5年間のセルジーンの株価推移

日次、ドルベース、期間:2013年2月28日~2018年2月28日



13年2月28日 15年2月28日 17年2月28日

出所:ブルームバーグのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

セルジーンの今後の見方

短期的には、同社の主力領域である血液がん領域が業績をけん引し、成長を下支えするものと考えます。一方で、血液がん領域以外については、パイプラインを充実させることが必要といえます。そのため、足元ではジュノ・セラピューティクス(米国)やインパクト・バイオメディシズ(米国)を買収する動きを見せています。

また、セルジーンに対する投資家からの信頼感の低下については、回復するまでに時間を要するものと考えます。引き続き新薬の承認動向や開発動向を注視していくことが重要でしょう。

(※将来の市場環境の変動等により、上記の内容が変更される場合があります。)

記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として紹介したものであり、その銘柄・企業の売買を推奨するものではありません。また、医薬品についてもあくまでも参考として紹介したものであり、その医薬品を推奨するものではありません。また、データは将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料をご利用にあたっての注意事項等

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものではありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。